

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 16 日 (19 : 00～21 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 下澤、朝日、川口、保田、内田、喜納、鈴木、山崎、飯田、川口 (連)、武者、仲田、出海、三浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 名	7 名	6 名	3 名	16 名

前回の改善計画	<p>* 新規利用者に対しては十分な関わりを持ち、事前情報と合わせ、スタッフ間で積極的な情報交換に務める。</p> <p>* 初回インテーク (面談時) やサービス担当者会議にはフロアリーダー等、介護スタッフの参加機会をできる限り持てるようにする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>* 利用開始時には概ね積極的にご利用者と関わることができ、環境が変わることへの不安の軽減ができた。またスタッフ間でも積極的な情報共有を行うことができた。</p> <p>* 初回面談時にフロアリーダーが同席することで、サービス開始時の情報共有の幅が広がった。</p> <p>* 時間の都合上、スタッフが初回面談時に同席することができず、十分な把握ができないことがあった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0 人	11 人	3 人	2 人	16 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0 人	11 人	3 人	2 人	16 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2 人	10 人	4 人	0 人	16 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0 人	6 人	10 人	0 人	16 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>* 利用開始時にはスタッフが積極的に関わりを持つことで、状態の把握に努め、情報共有することができた。</p> <p>* 事前情報に合わせ、実際のサービスの中で得られる情報や課題を元にサービスを調整し、必要としている支援ができた。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>* 初回サービス開始時には事前情報を収集する時間がなく、準備不足の時間がある。</p> <p>* 新人スタッフの技術不足により初回サービス時のご利用者に関わるスタッフが限定的であったり、情報共有が不足していたり、サービス内容の把握が不十分と感ずることがある。</p> <p>* スタッフが家族とお会いする機会が限定的なため、ご家族からの直接的な情報収集が困難。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>* 初期支援にあたっては、スタッフが初期の関わりを意識し、事前に与えられた情報をそれぞれが確実に収集することで、サービスを開始していく。またサービスを提供していく中で得られた課題や情報等は申し送りノートを活用し、確実にスタッフ間で共有し、適切なサービスへ繋げていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 16 日 (19 : 00～21 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 下澤、朝日、川口、保田、内田、喜納、鈴木、山崎、飯田、川口 (連)、武者、仲田、出海、三浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0名	4名	8名	4名	16名

前回の改善計画	*フロア会議や事前カンファレンスなどでケアプランの説明をスタッフへ行いケアプランへの理解、認識を高め、スタッフそれぞれが目標 (ゴール) を理解できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	*フロア会議等を使ったケアプランの説明の時間があまり取れず、書面での説明の他、自主的にケアプランに目を通してもらうことが多く、サービス内容への理解はあったがゴール (目標) への理解が全スタッフで共有できていたとは言えない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標ゴール」がわかっていますか?	0名	4名	8名	4名	16名
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0名	8名	7名	1名	16名
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0名	6名	9名	1名	16名
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0名	7名	6名	3名	16名

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること *日頃の関わりの中で「～したい」を汲み取り、協力しながら実現できている。 *フロア会議等で情報を共有し、カンファレンスを行を行うことで次のケアに活かしている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること *「～したい」はわかっているものの、日頃の業務に追われなかなか実行できなかった。 *新規スタッフのスキル不足のため意思表示のできないご利用者に対してのアプローチが一部うまくできなかった。また、フロア会議等で、「～したい」を発信しても、全スタッフが同じ認識で理解できていなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) *ご利用者の目標を理解した上で、日頃の関わりの中からその方の「～したい」をたくさん集め、少しでも多く実現していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 16 日 (19 : 00～21 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 下澤、朝日、川口、保田、内田、喜納、鈴木、山崎、飯田、川口(連)、武者、仲田、出海、三浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1名	12名	2名	1名	16名

前回の改善計画	*日々のケアの中でご利用者の声を拾い、カンファレンスで取り上げ、ケアに繋げるようにする。具体的には月に1回のフロア会議で、各スタッフが必ず一つ以上の声を提案することにし、カンファレンスを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	*3分の2以上のスタッフが議題を上げることができフロア会議でのカンファレンスが充実し、日々のケアにつなげることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0名	0名	14名	2名	16名
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1名	13名	1名	1名	16名
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1名	13名	1名	1名	16名
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2名	13名	1名	0名	16名
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0名	12名	4名	0名	16名

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること *カンファレンスにてご利用者、ご家族の思いをスタッフ間で共有し、日々のケアに活かすことができている。 *連絡帳を利用しご家族との情報共有することで、継続的に変化に気づくことができた。 *カンファレンスの他、日々の申し送りやショートカンファを行うことでご利用者の変化等の共有を行い、即時的に対応できるようにしている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること *日頃の業務に追われ、まだまだご利用者との関わりが少ないため情報が引き出せず本人の声にならない声をチームで言語化できていない。そのためスタッフの主観になってしまっていることがある。 *スタッフ間でもスキルに差があるため、情報がうまく伝わらないことがある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) *日常生活支援を1日単位で全スタッフが支援できることと、正確な情報共有とケアの継続性を高めるため1日2回以上の申し送り(夜勤から日勤帯へ、日勤帯から夜勤へ)を分担と大まかな時間を決め必ず実行する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 16 日 (19 : 00～21 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 下澤、朝日、川口、保田、内田、喜納、鈴木、山崎、飯田、川口(連)、武者、仲田、出海、三浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0名	1名	6名	9名	16名

前回の改善計画
 ＊ご利用者が住んでいる地域の情報をスタッフレベルでも収集し、共有する。またご利用者と地域との関わりを継続できる支援を目指す。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ＊大和市の地域資源の情報が不足しており、それぞれの地域での情報をあまり提供できていない。
 ＊施設周辺のイベントや行事に対する関わり、情報提供はできた。
 ＊ご利用者の暮らす地域での人付き合いや関わりなど、訪問時に支援することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0名	2名	12名	2名	16名
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0名	2名	8名	6名	16名
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0名	2名	11名	3名	16名
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0名	0名	4名	12名	16名

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ＊日頃の関わりの中で得た情報などを元に、ご利用者が暮らす地域での暮らしを支援できている。
 ＊全てのご利用者ではないが、お住いの地域の民生委員さんやご近所の方など、その方の暮らしに関わりのある方との情報交換やコミュニケーションができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ＊土地勘がなかったり、その方の暮らす地域の情報収集がうまくできなかったため、直接関与していない時間の状況がうまく把握できなかったり、支援につながることがうまくできなかった。
 ＊スタッフの勉強不足、サービスへの理解不足のため、地域で暮らしていくための支援という視点がまだまだ低い。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ＊もう一度ご利用者のアセスメントを行い、直接関わっていない時間も含めその方の生活スタイルを全スタッフで共有すること。また、その方に合わせた地域資源や情報を提供できるようになること。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 16 日 (19:00~21:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 下澤、朝日、川口、保田、内田、喜納、鈴木、山崎、飯田、川口(速)、武者、仲田、出海、三浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0名	4名	7名	5名	16名

前回の改善計画	<p>*事業所内で全スタッフに向け小規模多機能サービスへの理解を深めるため、「小規模多機能居宅介護サービス」の勉強会を際実施。スタッフ全員が自事業所のサービスをきちんと理解し、ケアに活かせるようにする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>*個別評価実施後になってしまったが、グループホームサービスも含め、施設内スタッフ全対象とし、自事業所のサービスについての勉強会を行い、理解を深めることができた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0名	4名	10名	2名	16名
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2名	12名	1名	1名	16名
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3名	9名	4名	0名	16名
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3名	10名	2名	1名	16名

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>*ボランティアさんや保育園児、近隣の方、他多くの方に来所していただき色々な活動や交流の機会を提供出来ている他、近隣のイベントへや行事へお招きいただくこともあり、自事業所以外の皆様にもご協力いただいています。</p> <p>*一部の方ではあるが、事業所が関わっていない時に近隣の方、民生委員さん等、支援にもご協力いただいている。</p> <p>*スタッフがサービスの特性を理解し、その時のご利用者・ご家族のニーズに合わせて柔軟に対応できている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>*前例のない、突発的な事例に対し、スタッフレベルでの判断が難しく、ニーズに沿った対応ができていないか、またはわからないことがまだある。</p> <p>*地域資源の情報収集ができていないため、サービスが施設内で完結してしまっていることがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>*新人スタッフ入職の際、オリエンテーションの内容の中に、今回スタッフへ行った小規模多機能サービスの勉強会と同等の内容を実施する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 16 日 (19 : 00～21 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 下澤、朝日、川口、保田、内田、喜納、鈴木、山崎、飯田、川口(連)、武者、仲田、出海、三浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0名	1名	5名	10名	16名

前回の改善計画	*地域行事、自治会の活動へは管理者のみならず、利用者とスタッフが参加できる機会を増やし、地域の方と馴染みの関係が作れるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	*地域の行事やイベントには積極的に参加できており、スタッフレベルでも地域の方とのコミュニケーションを図り、少しずつではあるが、馴染みの関係も構築できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	0名	0名	3名	13名	16名
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0名	0名	1名	15名	16名
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1名	5名	2名	8名	16名
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1名	6名	4名	6名	16名

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
*ボランティアさんや保育園の園児達などは日頃から関わりがあり定期的に訪問してくれています。また近隣の方も気軽に来所くださるようになってきていると感じます。 *管理者が自治会へ参加しているため、自治会の行事やイベントには積極的に参加できています。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
*まだまだ、地域の方の介護施設等への敷居が高く非日常と感じているのではないかと。 *自治会の行事も多くはないので、環境もも含め一部の参加にとどまっている。 *日々の現場業務を来ないしながらなので、なかなかサービス担当者会議等へ参加する時間がない。フロアリーダーのみの参加でとどまっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
*地域の行事やイベントのみならず、ご利用者と一緒に地域へ出る機会を多くする。(2 回/月街並み清掃も含む)	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 16 日 (19 : 00～21 : 30)

7. 運営

メンバー 下澤、朝日、川口、保田、内田、喜納、鈴木、山崎、飯田、川口(連)、武者、仲田、出海、三浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0名	1名	6名	9名	16名

前回の改善計画	*法人の事業計画、理念などいつでも観覧できるようにフロア内に配置。また法人の理念にのっとった形でフロアの理念、あり方をスタッフみんなで作成する。
前回の改善計画に対する取組み結果	*今年度の法人の事業計画は4月のフロア会議でスタッフへ説明することができた。しかし、その後入職したスタッフに関しては説明する時間を持てなかった。 *フロア会議等では、主にカンファレンスに時間を割いてしまい、スタッフで十分に話し合い、フロアの理念をみんなで作成することができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	0名	0名	8名	8名	16名
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0名	10名	5名	1名	16名
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0名	1名	10名	5名	16名
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0名	2名	7名	7名	16名

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること *愛成会における職員行動指針の作成の際は現場スタッフが作成委員となり、指針作成を行った。 *ご利用者、ご家族等からの意見、クレームは直ちに管理者へ報告するとともに、即時対応できるよう、内容の共有をスタッフ間で行い、次へ繋げている。 *地域に必要とされる事業所であるために、管理者を始め、スタッフが様々な活動を行っている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること *フロアの理念、あり方が定まっておらず、時間を取ることができず話し合うことができなかった。 *地域の方からの意見を聞く機会が少なく、運営などにどのように反映しているかがわからない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) *法人理念を元に、フロアのあり方、理念をスタッフが作成する。その他、月単位でのケア目標を作成し実行、評価を行う。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 16 日 (19 : 00～21 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 下澤、朝日、川口、保田、内田、喜納、鈴木、山崎、飯田、川口(速)、武者、仲田、出海、三浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0名	3名	7名	6名	人

前回の改善計画
*法人の制度「外部研修制度」を理解し、施設内研修にとどまらず、外部研修にどんどん参加する。 *アクシデント(事故報告書)を活用し、フロア会議で全スタッフで事故情報、ヒヤリハットを共有し、対策等検討し合う時間を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果
*研修制度を利用しての研修への参加は一部スタッフでとどまっている。うまく活用できているとは思えない。 *フロア会議等で事故報告書を活用し、事故情報の共有はできているが、あまり時間を多く取れていない。ヒヤリハットの共有も行うことで、事故予防につながっていると思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	0名	4名	6名	6名	16名
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0名	2名	3名	11名	16名
③	地域連絡会に参加していますか	0名	0名	1名	15名	16名
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0名	6名	5名	5名	16名

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること *事故報告書、ヒヤリハット報告書を活用し、情報の共有、対応策の検討を行い、リスクマネジメントに取り組んでいると思う *制度を利用することで、施設外の研修へ参加することができ、スキルアップへつなげることができた。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること *スタッフのスキルアップに対する意識が低いことや、興味のある研修情報が少ないこと、施設内研修を多く開催できなかったことから、研修、勉強会などへの参加が少なかった。 *業務に追われ、気持ちにゆとりがなく事故に至ってしまうことがある。また、もう少しスタッフ個人の事故に対する意識を上げていかなければならない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) *フロア会議等での事故検討の他、事故直後にも当日のスタッフでショートカンファレンスを開催し、即時的な対応策を検討し共有していく。 *2ヶ月に1回のペースで全スタッフを対象とした施設内研修を開催する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 16 日 (19 : 00～21 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 下澤、朝日、川口、保田、内田、喜納、鈴木、山崎、飯田、川口(連)、武者、仲田、出海、三浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0名	7名	2名	7名	16名

前回の改善計画	*施設内勉強会で「高齢者虐待、拘束に対する勉強会」を全スタッフ対応で開催。スタッフの認識を高める。
前回の改善計画に対する取組み結果	*個別評価の後になってしまったが、施設内勉強会にて「高齢者虐待、身体拘束」についての勉強会を開催することができ、スタッフみんなで認識を再確認することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9名	7名	0名	0名	16名
②	虐待は行われていない	11名	5名	0名	0名	16名
③	プライバシーが守られている	2名	10名	3名	1名	16名
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1名	1名	0名	14名	16名
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1名	13名	2名	0名	16名

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
*法人内の研修や勉強会に参加している他、一つ一つのケアがこれにあたらぬか考えながら行っている、また常識的なことなので虐待や拘束は行われていない。 *人権やプライバシーはきちんと守られている。 *個人情報の管理もきちんとされている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
*帰宅願望等で施設で過ごしていただけるよう声かけを行うことがあるが、施設に拘束しているのではと思うことがある。 *フロア内で他のご利用者に聞こえる声で伝達事項などを無意識にしてしまうことがあり、プライバシーの配慮に欠けていることがある。 *フロア内で申し送りやカンファレンスを行なっているため、場所や音量に配慮が必要である。 *写真使用同意書をいただいているが、ブログ内で使用する写真で個人情報が守られているか不安になることがある。 *勉強不足のため、スタッフの成年後見制度への理解が少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
*フロア内での発言に注意し、プライバシーに配慮しながら声かけを行う。また、申し送りやカンファレンスなどの場所も検討しながら行う。 *施設内勉強会で「成年後見制度」に関しての勉強会を行う。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 愛成会	代表者	平本 敏	法人・ 事業所 の特徴	法人理念である「愛成相和」を元にお互いが助け合い、支え合い感謝の気持ちを持ってサービス提供をおこなうことをスタッフが共有して実践できるよう心掛けています。また利用者の「生きる意欲や喜び」「癒し」の充足に努めるとともに、地域密着型サービスを提供する事業所としてご家族、地域の方たちに愛され、信頼される施設づくりの為地域の清掃活動や、自治会活動への参加など様々な取組を行っています。
事業所名	ヴィラ愛成	管理者	下澤 貴道		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	人	人	1人	人	3人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・次年度評価時は資料の事前配布の際参加スタッフ記載欄に常勤か非常勤か明記し、わかりやすいようにする。また、日頃より地域の方とふれあいを深め、スタッフも馴染みの関係を作れるようにします。	事業所自己評価、地域関わりシート①を外部評価1週間前にお配りする時にスタッフの常勤、非常勤の一覧を添付することで、参加の有無を確認できるようにしました。また、スタッフレベルでの地域との関わりを強化しました。	事前配布のスタッフ資料で、常勤、非常勤かが把握できました。テーマごとの改善計画では、できることから取り組んでいるのでいいと思います。	・今年度はすべての項目が達成できたわけではありません。達成できなかった部分は引き続き継続課題とし、新たな取り組みも含め、半期で一度振り返りを行い、スタッフ全員で取り組みます。
B. 事業所のしつらえ・環境	施設の方針である「施錠しない、拘束ゼロ」を地域の皆様へ理解していただくとともに、解放するにあたり、利用者の安全確保を第一に考え、スタッフの付き添いや見守りを強化します。	日中は玄関はもとより、施設内でのユニット間での扉も施錠はしていません。施設内にご利用者を閉じ込めることはせず、開放的な空間づくりを心がけています。またそれに伴い、外出時のご利用者の安全確保にも努めました。	事業所に入りやすい工夫はされていると思いますが、どのような工夫をしているかが具体的にわからない。玄関の施錠をしていないのは開放感があっていいと思います。その反面ご利用者の安全確保に努めてほしい。	・引き続き、日中施錠することなく開放的な空間作りを行います。その反面安全な環境を整え、事故のないようにしていきます。また施設外の花壇や駐車スペースなどの環境整備を行い近隣の方にも心地よさを感じていただけるようにします。
C. 事業所と地域のかかわり	・施設の行事やイベントを自治会に依頼し事前にお知らせすることで、広く知って頂けるようにする。自治会の中でも機会があればサービス等の情報提供を行います。	施設で行われる、大きなイベントは事前にポスターを作成し、回覧板でお知らせさせていただけることができました。広く施設を知っていただく機会を作ることができました。	以前に比べ地域の方々にはだいぶ事業所が知られていますよ。管理者だけではなく、スタッフの方々ももっと地域にでてほしい。自治会の行事が少ないので、事業所が主催で地域とイベントを行ってくれるのは良かった。	・次年度も地域の方と一緒にイベントを開催し、また地域のイベントにも積極的に参加することで事業所を知ってもらい、いつでも相談できる、気軽に立ち寄れる事業所を目指します。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・引き続き運営推進会議を通して、利用者の支援内容や活動状況を報告させていただきます。また利用者が暮らす地域での行事やイベントにも目を向け、地域性を継続できる支援を強化します。	運営推進会議を通して、日々行っているご利用者の地域での支援は活動状況などで報告させていただきましました。ご利用者の住んでいる地域の社会資源の情報収集までには至りませんでした。	地域ケア会議の主催がわからないし、参加もできなかった。実際には今年度8回開催している。個別で地域の心配な方の相談をさせていただいたことがあります。運営推進会議の場での共有はできなかった。	・ご利用者の住む地域でのケア会議開催や民生委員さんとの会合など、スタッフを含めできる限り参加していきます。 ・ご利用者の地域性を継続していくため、日頃からスタッフ単位で交流を深め、なじみの関係性を構築します。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議の場を利用し、地域の困りごとなどの共有を行い、出来る範囲内での課題検討などを行える様になります。	具体的な事例を取り上げて、運営推進会議の場を使い、事例検討などはありませんでしたが、個別相談やサロン立ち上げなど日頃からそういった体制を構築していくことができた。	実際の事例検討はなかったが、この会議の場で必ずしも事例検討を行わなければならないということではない。会議だけではなく日頃からいつでも相談できる拠点として機能していきたい。	・日頃からの関わりもあるが、運営推進会議の場でも、要望があれば地域の課題との共有を引き続き行っていきます。また、次年度からはスタッフの参加も促し、より現場レベルでの報告ができるようにしていきます。
F. 事業所の防災・災害対策	・防災計画を運営推進会議の場で報告させて頂き、地域の皆様へ知って頂く。事業所の防災訓練の際は地域の皆様にも幅広く参加して頂き、災害時の協力体制の確認を行う。	H28年度第1回目の運営推進会議で防災計画を報告させて頂きました。また、事業所での防災訓練は年2回開催することができたが、開催が急になってしまったため、地域の方の参加が叶わなかった。	過去には何度か防災訓練に参加させて頂きました。また声をかけてください。災害時はおたがいさまなので、防災協定等を取り交わし、連携を深めていきましょう。	・自治会との防災協定を検討し、連携を深め、災害時の協力体制を構築していきます。 ・風水害時の防災訓練の検討、実施を行なっています。

